

イネ科植物の遺伝子発現段階的制御

有用形質を精密に調整できます

概要

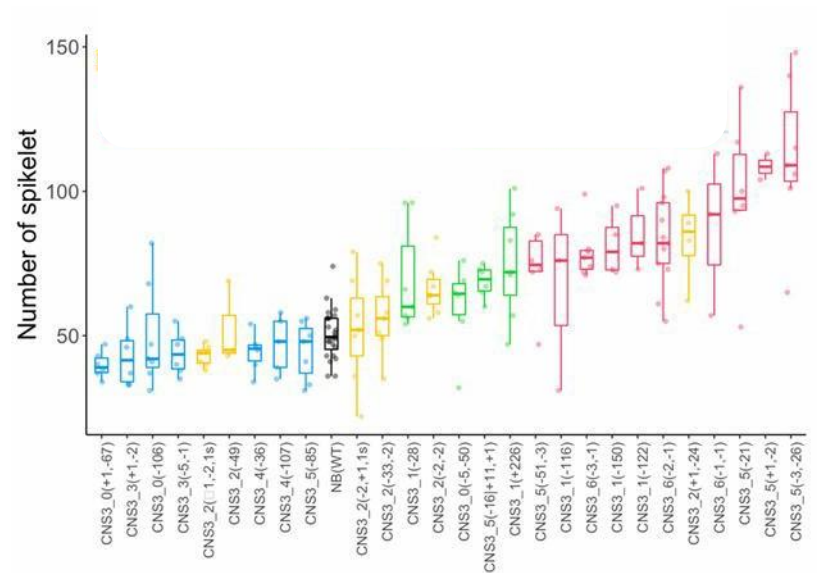
作物の新品種を創出するためにゲノム編集技術が注目されているが、これまでのゲノム編集技術は機能既知遺伝子の機能欠損が中心で1段階の表現型しか得られなかった。

本研究では、保存配列CNSのゲノム編集により遺伝子発現を精密に調整して有用な農業形質を作出するためのプラットフォームを提案する。

本技術の活用により、より多様かつ精密な形質の改変が可能となり、実用的な新規農作物の開発が加速されることが期待される。

応用例

- 作物の形質を精密に改変する新規プラットフォームの確立
- イネの新品種創出
- CNSのデータベース化



小穂数の調整を実現

知的財産データ

知財関連番号 : WO2025/018218
発明者 : 牧野 能士、岩崎 航、経塚 淳子
整理番号 : T22-344

お問い合わせ

株式会社東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049

お問い合わせフォームは[こちら](#)